

路地百選推薦書【No. 197】

推薦者氏名：事務局

推薦する路地（のまち）の名称	鎌倉 小町通り裏の小路群
所在地	神奈川県鎌倉市小町・雪ノ下

【推薦する理由（路地のよいところ）】

鶴岡八幡宮の裏参道「小町通り」。いつの間にか、表の若宮大路をしのぐメインストリートに。その小町通りと若宮大路の間にいくつもの路地が潜んでいる。基本的には住宅地であるが、若宮大路や小町通りから店舗が滲みだしている。北の路地では閑静な雰囲気を最大限活用しているようだ。これに対して南の駅に近い路地では、飲食店が多く立地して、瀬戸小路などは小さな飲み屋街を呈している。

【写真添付】



石畳のある路地

北の入口小池小路

緩やかにカーブする路地

閑静な置石小路

瀬戸小路の飲食店街

小町通りの喧噪

路地	面積	約	h a	路地の延長	約	m
のまちの成り立ちの特色概要		<p>源頼義（八幡太郎義家の父、頼朝の五代前）が相模守となり、「前九年の役」後、源氏の守り神である京都の「石清水八幡宮」を「由比郷鶴岡」に勧請した（現在、材木座にある「元八幡」（由比若宮））。三方を山に囲まれ、南に海が広がる天然の要害として、後に鎌倉幕府が置かれた。鎌倉幕府滅亡後も鎌倉公方などがおかれ、その補佐関東管領である山之内上杉などが戦国時代まで続くことになる。山之内や扇ガ谷（おうぎがやつ）は鎌倉の地名として現在も残っている。</p> <p>鎌倉は平地が狭く、平地を有効に活用するように狭い路地が縦横に回っていると同時に、周囲の斜面地にも伸びている。鎌倉は太平洋戦争において京都・奈良と同様に空襲をほとんど受けなかったことから、神社仏閣などの古い建物とともにこれらの路地が多く残っている。</p>				